

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【300】
2. 日時：令和2年8月28日 10時00分～12時00分
16時00分～19時15分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室、8階D会議室
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、津金主任安全審査官、三浦主任安全審査官、
宇田川安全審査官、服部安全審査専門職、堀野技術参与、山浦技術参与

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 機器耐震技術GM 他16名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性及び強度に関する説明書について、令和2年7月27日、8月25日、8月26日、8月27日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【耐震性に関する説明書の補足説明資料（重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について）】

- 動作要求の期間を事象発生後長期間（3日以上）としていることについて、参照図書を引用した上で考え方の概要を説明すること。

【耐震性に関する説明書の補足説明資料（容器のスロッシングによる影響評価について）】

- 表3-1において容器内包液の水平方向応答加速度が7号機と6号機で異なる理由を説明すること。
- 腰掛圧を用いたスロッシングの影響評価について、「②【保守的な評価】」の保守性を確認する参考的な評価であることを明確にして説明すること。

【耐震性に関する説明書の補足説明資料（格納容器圧力逃がし装置主配管の地震相対変位に対する考慮について）】

- 全伸縮量 δ の算出過程について説明すること。

【耐震性に関する説明書の補足説明資料（原子炉建屋クレーンの耐震性についての計算書に関する補足説明資料）】

- 「5. 地震応答解析結果」について、非線形挙動を呈するクレーンに対して、応答スペクトルと線形固有周期の関係で応答の大小を推定することの妥当性を説明すること。また、非線形応答のばらつき考慮のために入力時刻歴波の時間刻みを±10%シフトすることで十分か（±10%の間で更に細かくシフトする必要はないか）を説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
なし